

◎以西地区公民館平成30年度運営の状況と評価

(1) 運営の状況

項目	状況
年間総利用者数	163 団体 のべ 1,875 人 (公民館使用簿より)
開催事業・講座	計 56 回 のべ 2,050 人参加 (詳細は別紙「平成30年度事業実績」のとおり。)

(2) 評価

○評価項目及び評価

項目	評価の観点 (下記が適正にできているか)	特徴的取り組み・反省点など	評価
公民館の 目的・目標	・関係者(職員・役員)の 目的・目標理解と意欲的 取組み	公民館の目的の認識が全体的に薄れているところもあるので、運営協議委員とともに住民への周知を行っていく。	B
地域全体で 行う、まな びテーマの 把握・反 映・実践	・住民学習ニーズの把握及 び事業への反映 ・地域課題、生活課題、現 代的課題の事業への反 映(講座リスト活用) ・発達課題、家庭教育、奉 仕・体験活動に関する学 習機会設定 ・事業への住民参画推進	地域課題は多くあるが、住民に危機感がなく講座をしてもなかなか興味を示してもらえないので、住民が多く集まる時を利用して講座設定していく。 男性の方に公民館事業に興味をもって頂きたいと男性限定の体操教室を谷川トレーナーを迎えて開催したところ、思わぬ人数の参加者があり、現在もなお継続中である。 公民館の集いでは、船上山の歴史講演会、キッズ教室、などあらゆる年齢層にも来ていただける活動ができた。	B
より自主的 なまなびの スズメと広 がり	・自主運営学習グループづ くり推進 ・住民の自主学習支援 ・学習リーダー、講師育成 ・学習成果発表機会設定 (作品展示など) ・関係団体と連携しての事 業実施	住民の関心することを聞き、新しい自主運営グループの立ち上げを増やしていく。 おとこの料理教室は公民館には縁遠い年齢層のグループの運営拠点ができ、次のステップに繋がる。 公民館祭において展示・発表の機会を旧校舎で展開、学習成果発表と新たな学習者確保を進めた。	B
まなび情報 提供と職員 研修	・講座開催、学習グループ の情報提供 ・図書など資料の提供 ・職員研修(町教委主催な ど)への参加と自己研鑽	公民館だより発行(4回)、ホームページ掲載、音声告知放送など情報提供に努めた。 町・県・郡公連主催の研修に参加し、研鑽を続けた。	A
利用者目線 のまなびの 館づくり	・館管理、貸館、不在表示 の適宜実施 ・利用者への挨拶励行な ど、接遇改善	不在表示を行い、館利用が滞らない様に努めた。「来たときよりも美しく」を合言葉に住民啓発を実施、明るい挨拶と素早い対応に心がけた。	A
総括	・地域学習拠点として全体 総括 ・次年度に向けての改善点	自主運営学習グループづくりをより強化したい。 小学校こども園の保護者には、運動会や公民館の集いさい夢まつり等で出店をしてもらうなど協力体制の強化を積極的に行っていく。	合計 17点 (20点中)

※評価 A: 適切・十分(4点) B: 概ね適切・概ね十分(3点) C: やや不適切・やや不十分(2点) D: 不適切・不十分(1点)

事業名	内容	ねらい	実績(開催日・回数・参加数)
諸会議	公民館運営協議会	公民館の事業計画・運営方針について、地区内学識経験者などで協議する	公民館活動の総括的な改善検討推進 年6回開催・のべ75名
	新春交流会	新年度の初めに、区長ほか各部長・公運協が集い1年間の事業等の協議を行う。	各部長との連携による効果的な事業実施説明と初顔合わせ 1/14・55名
	教養・体育部長会	公民館の集いや年間事業についての説明	各種行事への積極的参加を促し、協力体制をとる 年3回開催・のべ90名出席
	船上小学校地域戦略会議	統合により学校との連携がとりにくくなったので、意見交換を行う	学校と地域の連携・調整 10回/80名
女性教室	料理教室(季節の保存食)	季節の野菜を上手に調理し、ひと手間加えて家事の手間を省く	旬の素材を上手に調理して生活向上 12/7・12名
	水引き細工教室	魔よけや人と人を結びつける意味合いがある水引を使い、様々な結び方を学び作品を額にいらして飾る	色々な手芸教室を希望している方が多く、公民館の集い作品展示に出展 1/26・11名
	正月用フラワーアレンジメント教室	季節・行事に合わせて、アレンジを学ぶ	日本の伝統文化と現代的アレンジについての学習 12/29・20名
体育事業	以西ゴルフ大会	以西地区住民および出身者の団体・個人戦で優勝をあらそう	健康増進と地区住民の親睦を図る 5/27・29名
	ソフトバレー大会	男女別部落対抗戦で行う。ストレッチ体操はスポ少バレー部員が行う	健康増進と地区住民の親睦を図る 6/17・170名
	盆ソフトボール大会	部落対抗戦で行い、お盆の帰省客の参加も認めているため懐かしい話で盛り上がる	健康増進と地区住民の親睦を図る 8/14・110名
	グラウンドゴルフ大会	各部落が男性・女性・寿の部でチームをつくり参加する。保育園児から高齢者までよい交流の場となる	健康増進と地区住民の親睦を図る 地元郵便局に協賛いただき賑やかに開催 10/28・125名
	卓球大会	男女ペアのダブルス戦でリーグ戦で行う。他のスポーツに出れない部落も卓球には参加できる部落も多い	健康増進と地区住民の親睦を図る 2/3・130名
青少年(船上キッズ)	和紙で魚釣りおもちゃ作り	青谷和紙を使った工作作り(わらべ館出張教室)	細かな作業で集中力を養い、手づくりのおもちゃの楽しさを学ぶ 7/8・16名
	赤碕の海を楽しもう磯あそび	地元の海にどんな生き物がいるのか岩田弘さんから教わる	ゴミの投棄をなくし、海の生き物観察を通して自然と触れ合う 7/16・17名
	夏休み見学ツアー	・鳥取砂丘こどもの国で工作と園内で遊ぶ ・かにっこ館見学 鳥取県立博物館でとつとりの化石を学ぶ	自立・下学年への思いやりや様体験することの楽しさを学ぶ 8/6・27名
	もの作りコーナー(公民館のつどい)	竹を使いドリルを使って作る、竹灯籠作りを高力弘さんに教わる	ものづくりの楽しさを学ぶ 2/3・15名
キッズ・成人	ナイトウォークラリー	以西の事業と協賛で行う。グループを作り、コマ図をたよりにチェックポイントで得点をかせぎ以西地区内を歩く	歩いて以西を見つめなおすとともに、チーム参加で協調性と完歩する強固な意志を養成する 7/21・80名
成人教室	以西里山ホテルウォーク	ウォーキングとホテル観察	騒がず静かに、心休む時間を過ごす 6/22・50名
	春&秋 チャレンジ登山	赤碕中学校区4館で行い、山楽会に行き先と当日の運営協力をお願いする	他地区の参加者との親睦と自然とふれあい達成感を味わう 4/30・39名 11/4・29名
	体力パワーアップ教室	骨密度・血管年齢・体力測定・尿検査等を教室の初日と最終日に計測し、身体の動かす大切さやバランスのいい食事の大切さを町保健師・谷川トレーナーから学ぶ	男性の参加率向上 口コモ予防 10月～3月 23回・260名
	講演会	大山1300年祭・船上山の歴史について、社会教育課専門員の太谷浩史さんの話を聞く	身近にある船上山の歴史を改めて学ぶ 2/3・40名
	竹灯籠作り教室(成公共催)	油抜きした竹を使い、灯りが洩れるイメージをもって専用ドリルで穴をあけて灯籠を作る	自然のものを使って、日常生活を華やかにし生活を華やかにする 3/3・13名

高齢者	野外研修会	奥津の紅葉を楽しみながら、聚楽園を見学の後、津山まなびの鉄道館を見学	孤立する事がないよう、高齢者の交流をはかる	11/16・28名
	公民館のつどい	各種団体、小学校、保育園児の力作を展示。各部落、保育園、小学校のかくし芸の披露	閉じこもりがちな時期、地域住民の交流親睦を図る	2/3・320名
	味噌加工	地元産材料を持ち寄り、各部落単位ごとに手作りの味噌作りを行う。役員会の開催	地産地消を合言葉に添加物のない安心安全な味噌づくり	12月～3月 70名
	いさい夢まつり	以西の伝統芸能である「以西踊り」を踊り、地域住民が集い親睦を図る	昔からお盆の時期に踊り継がれてきた行事を復活	8/4・250名
	以西おどり保存会	伝統芸能大会への出演、青少年への伝承指導や地区運動会への参加・総会 ふなのえ子ども園年長児と以西地区の方との交流会で、和尚さんの座禅・地域の方とも物づくり、昔遊び、以西踊りを踊って交流	地域の伝統芸能の伝承・保存活動 地域の伝統芸能の伝承・保存活動と地域の人との交流	年間8回 120名 3/3・45名
自主学習活動	自主運営化推進		住民の自主的学習活動奨励と拡大	エコクラフト：4回40名 GG同好会：24回480名 男の料理：5回80名 フラワーアレンジメント ：12回141名 シニアゴルフ：10回100名